

大分商工会議所

演題：「one team OITA」の実現に向けて ～令和6年度政策～

日時：令和7年2月26日（水）17:30～18:30

場所：レンブラントホテル大分2階 二豊の間



世代も性別も職種もこえて
みんなのチカラをひとつに。
理想のまちがこれからはじまる。

大分市長 足立 信也

大分市長プロフィール



足立信也(あだち しんや)

生年月日 1957年(昭和32年)年6月5日
出身地 大分市上戸次
趣味 スポーツ観戦
座右の銘 紅蓮(Warm Heart Cool Head)

学歴

1976年(昭和51年) 大分県立大分舞鶴高等学校 卒業
1982年(昭和57年) 筑波大学医学専門学群 卒業
1990年(平成 2年) 医学博士(筑波大学)

職歴

1982年(昭和57年) 筑波大学附属病院医員(研修医)
1984年(昭和59年) 筑波大学附属病院医員
1988年(昭和63年) きぬ医師会病院外科診療科長
1994年(平成 6年) 筑波大学臨床医学系外科講師
2003年(平成15年) 筑波大学臨床医学系外科助教授
2003年(平成15年) 国立霞ヶ浦病院消化器科医長
2004年(平成16年) 筑波メディカルセンター病院診療部長
2004年(平成16年) 第20回参議院議員選挙(大分県選挙区)で初当選
2009年(平成21年) 厚生労働大臣政務官
2010年(平成22年) 第22回参議院議員選挙(大分県選挙区)で2期目当選
2011年(平成23年) 筑波大学客員教授
2016年(平成28年) 第24回参議院議員選挙(大分県選挙区)で3期目当選
2022年(令和 4年) 一般社団法人 新時代戦略研究所 研究顧問
2023年(令和 5年) 大分大学客員教授
2023年(令和 5年) 大分市長就任

政治姿勢の背景など

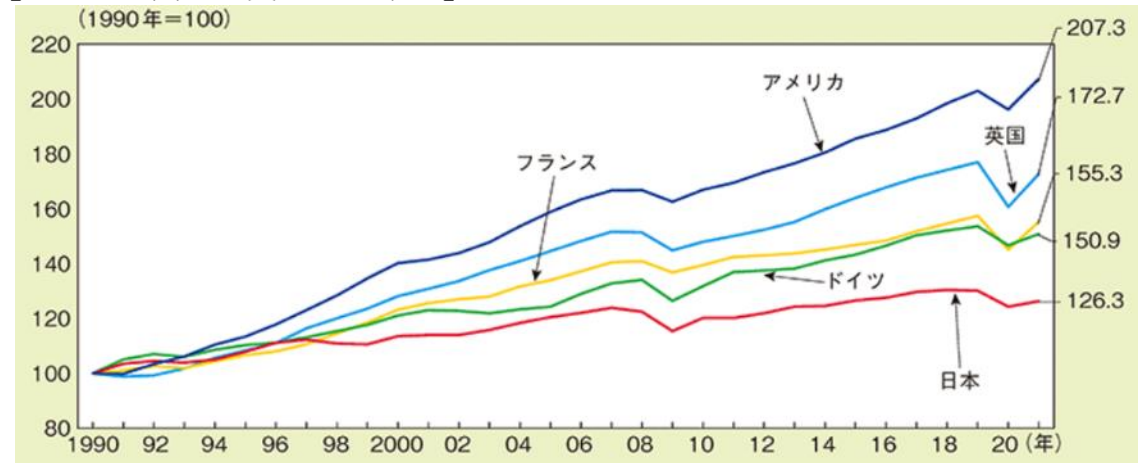
◆日本の実質GDPの推移:126.3 ※主要先進国平均162.5(2021年)、1990年を100とする、

◆日本の実質賃金の推移:103 ※G7各国平均127.5(2020年)、1991年を100とする

◆相対的貧困率の推移:15.4% ※13.5(1991年) ※出所:厚生労働省「2022年 国民生活基礎調査の概況」

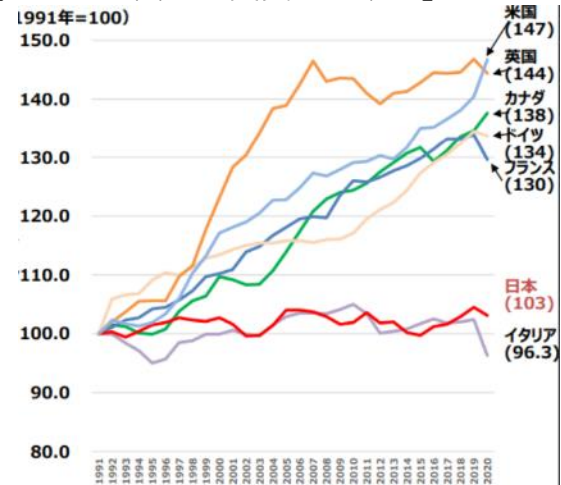
◆悩みや不安を感じている者の割合の推移:78.2% ※46.8%(1991年)
※出所:内閣府「国民生活に関する世論調査(令和6年8月調査)」

【主要先進国の実質GDPの推移】



※出所:内閣府「令和4年度 年次経済財政報告」

【主要先進国の実質賃金の推移】



※出所:内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 令和5年8月31日付基礎資料

Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

「ひとが真ん中。」

ひとを守る

自然災害や感染症などのリスクをあらゆる角度から想定し、被害を最小限に抑え、市民の生命と財産を守ります。

ひとを育む

妊娠・出産・子育てから大学などの高等教育まで切れ目のない支援で、誰もが安心して子どもを産み育てることができる環境をつくりま

ひとを支える

少子高齢化による地域コミュニティの衰退などに備え、誰もが役割を持ち、お互いに支え合い、自分らしく輝ける社会の実現をめざします。

ひとを豊かに

市民生活の向上と心豊かな暮らしを実現します。また、このまちを次世代へ引き継ぐため、持続可能なまちづくりを進めます。

ひとを元気に

人とまちが元気に輝き続けられるよう、新たな魅力が生まれるまちづくりを進めます。

市域（面積）の変遷

2023年(令和 5年) **502.39**km²

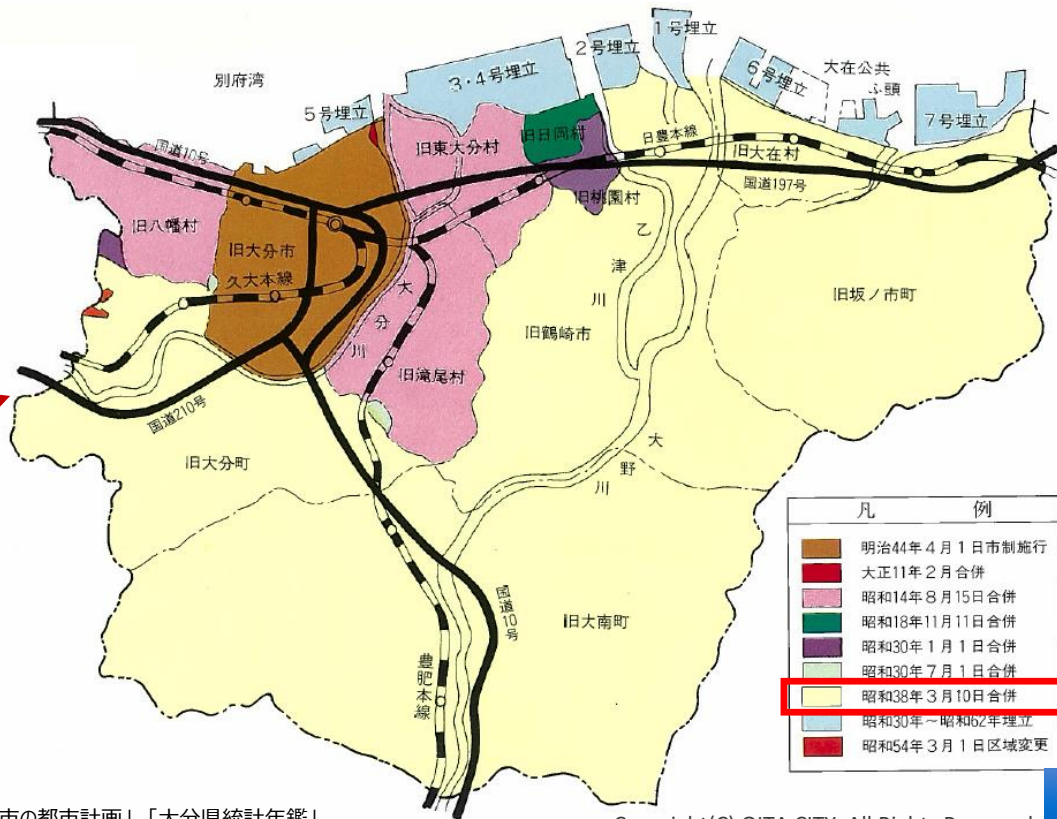
※全国62中核市のうち21番目の広さ(中核市平均403.49km²)

2005年(平成17年) **501.10** km²

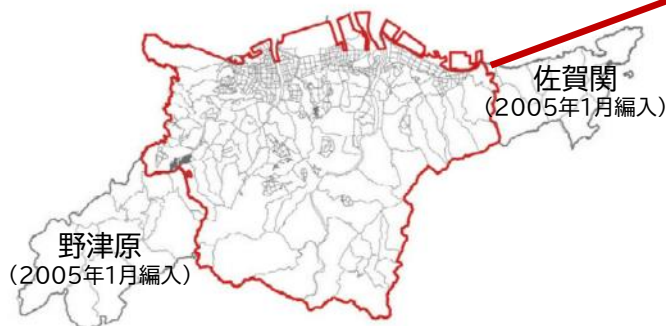
1963年(昭和38年) **343.82**km²

1962年(昭和37年) **64.23**km²

1911年 (明治44年) **20.17** km²



凡	例
明治44年4月1日市制施行	
大正11年2月合併	
昭和14年8月15日合併	
昭和18年11月11日合併	
昭和30年1月1日合併	
昭和30年7月1日合併	
昭和38年3月10日合併	
昭和30年～昭和62年埋立	
昭和54年3月1日区域変更	

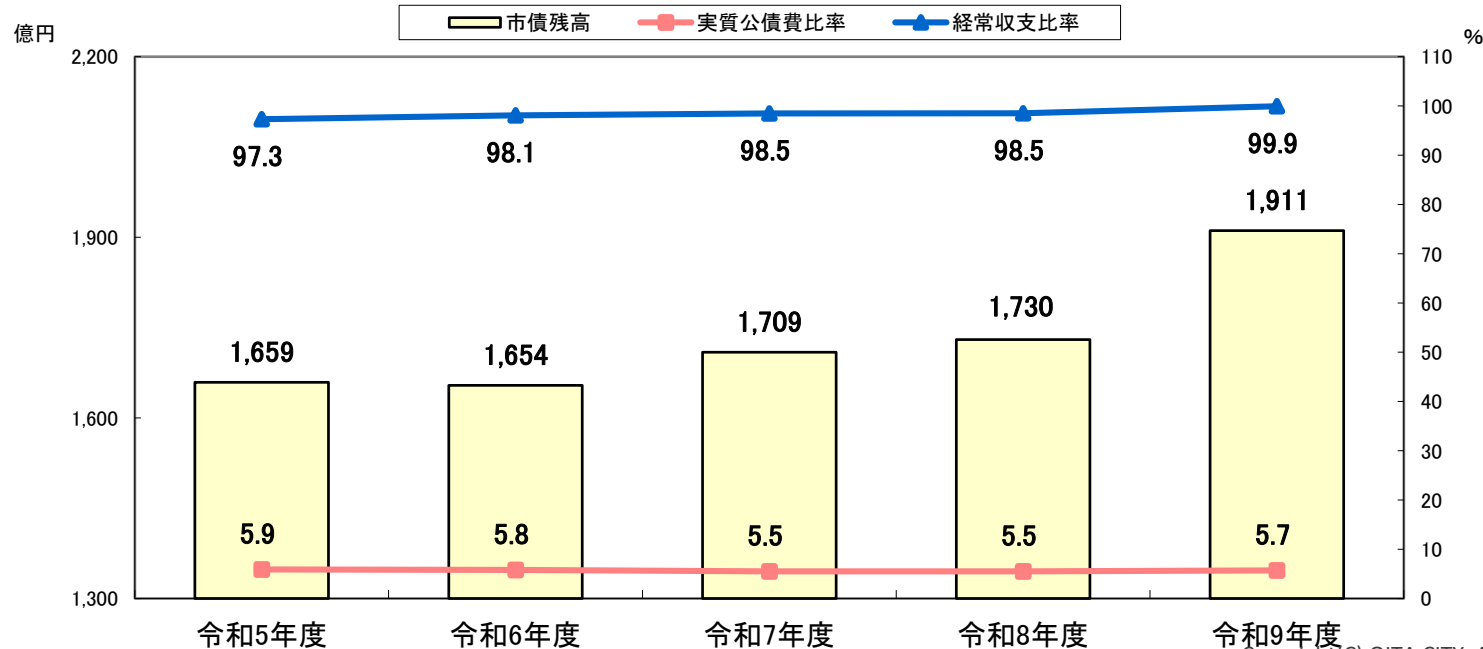


大分市の財政収支の中期見通し

◆市債残高は令和9年度にピーク(主要要因:新環境センター)を迎え、その後減少に転じる

◆実質公債費比率は5%台で推移 ※早期健全化基準は「25%」、財政再生基準は「35%」

◆経常収支比率は令和9年度末で99.9%の見込み ※義務的経費(社会保障費等)以外に使える財源は0.1%



県内の人口の状況

・令和7年1月1日現在の人口

1,083,079人

・前年同月比

-10,523人

<内 訳>

自然増減 -10,762人

社会増減 + 239人

市町村	R7.1.1人口	前年同月	人口増減	増減率
県合計	1,083,079	1,093,602	-10,523	-0.96%
大分市	470,604	472,229	-1,625	-0.34%
別府市	112,142	112,954	-812	-0.72%
中津市	80,693	81,394	-701	-0.86%
日田市	58,742	59,651	-909	-1.52%
佐伯市	61,549	62,697	-1,148	-1.83%
臼杵市	33,291	34,008	-717	-2.11%
津久見市	14,228	14,632	-404	-2.76%
竹田市	18,240	18,704	-464	-2.48%
豊後高田市	21,389	21,599	-210	-0.97%
杵築市	25,701	26,264	-563	-2.14%
宇佐市	49,710	50,477	-767	-1.52%
豊後大野市	30,871	31,635	-764	-2.42%
由布市	32,238	32,296	-58	-0.18%
国東市	24,108	24,785	-677	-2.73%
姫島村	1,499	1,544	-45	-2.91%
日出町	27,190	27,382	-192	-0.70%
九重町	7,717	7,926	-209	-2.64%
玖珠町	13,167	13,425	-258	-1.92%

※「大分県の人口推計」を基に大分市作成

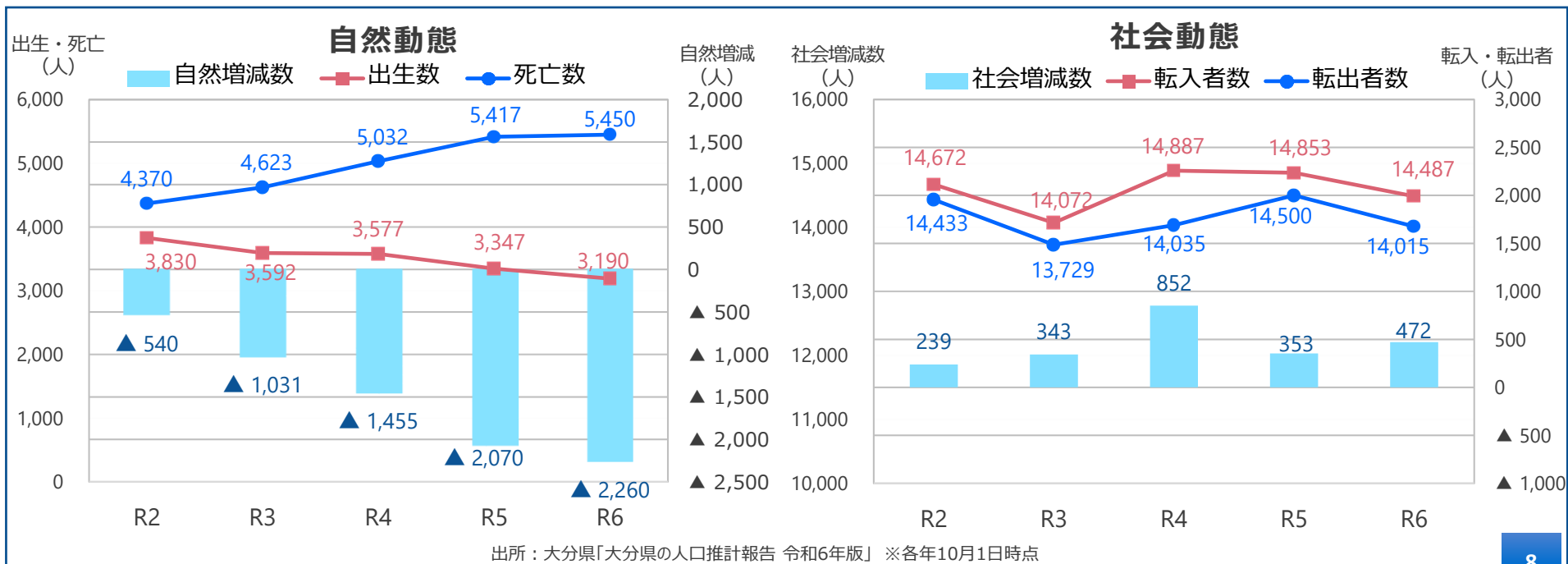
Copyright(C) OITA CITY. All Rights Reserved.

大分市の人口の状況

大分市の人口 **470,604**人(令和7年1月1日現在) ※全国62中核市のうち10番目の人口規模

前年同月比 **-1,625**人

※出所：「大分県の人口推計」、「中核市都市要覧（令和5年度）」

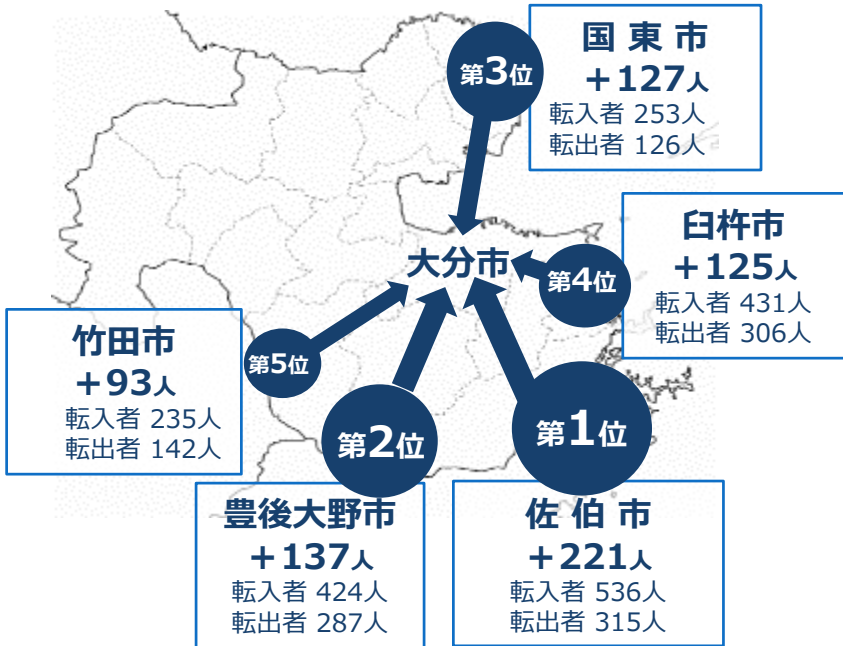


大分市の人口の移動状況

県内の人口移動

+1,061人の転入超過
(男性: +603人、女性: +458人)

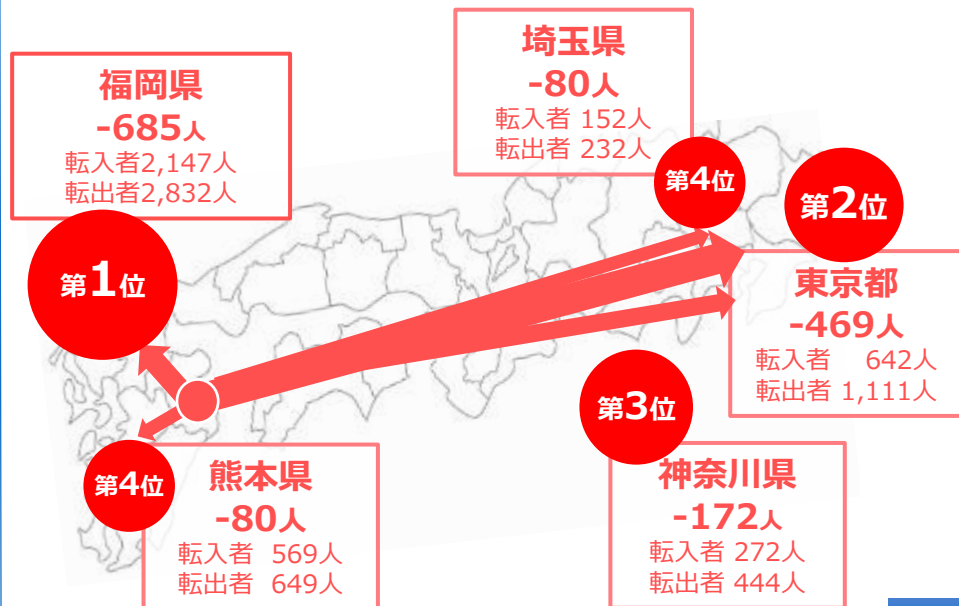
※本市における転入超過は2市【豊後高田市(-20人)、由布市(-49人)】



県外の人口移動

-589人の転出超過
(男性: -37人、女性: -514人)

※ 前住地または転出先が不明の者 (転入者: 52人、転出者: 90人) を含まない。

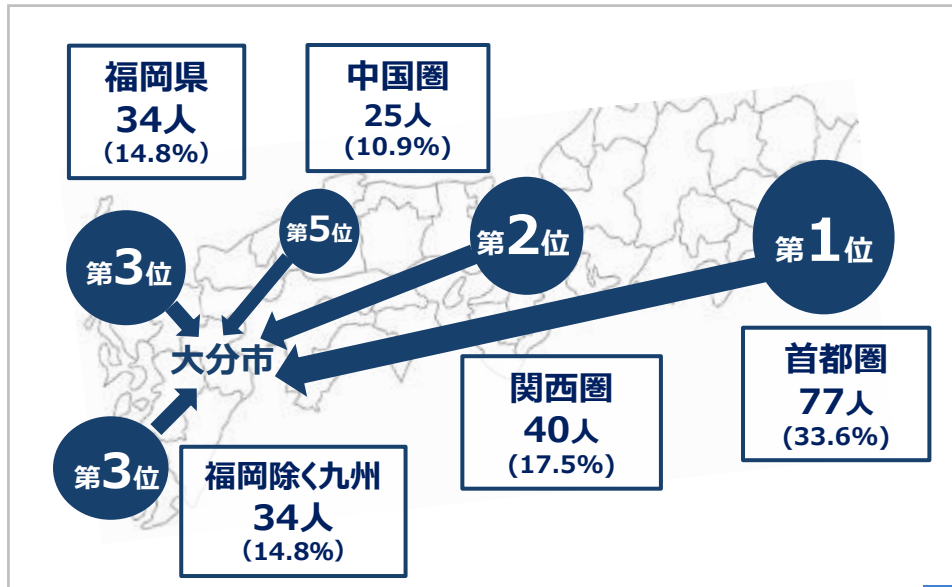
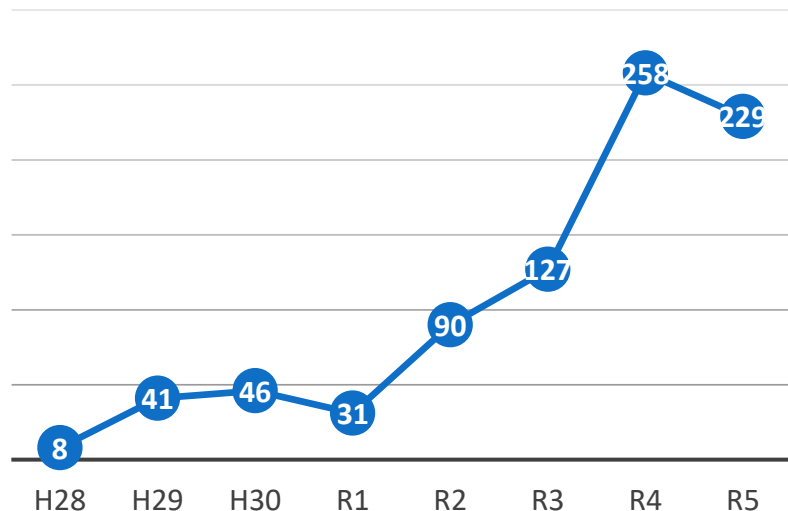


大分市への移住者の状況

出所：大分市おおいた魅力発信局調べ（令和5年度分）

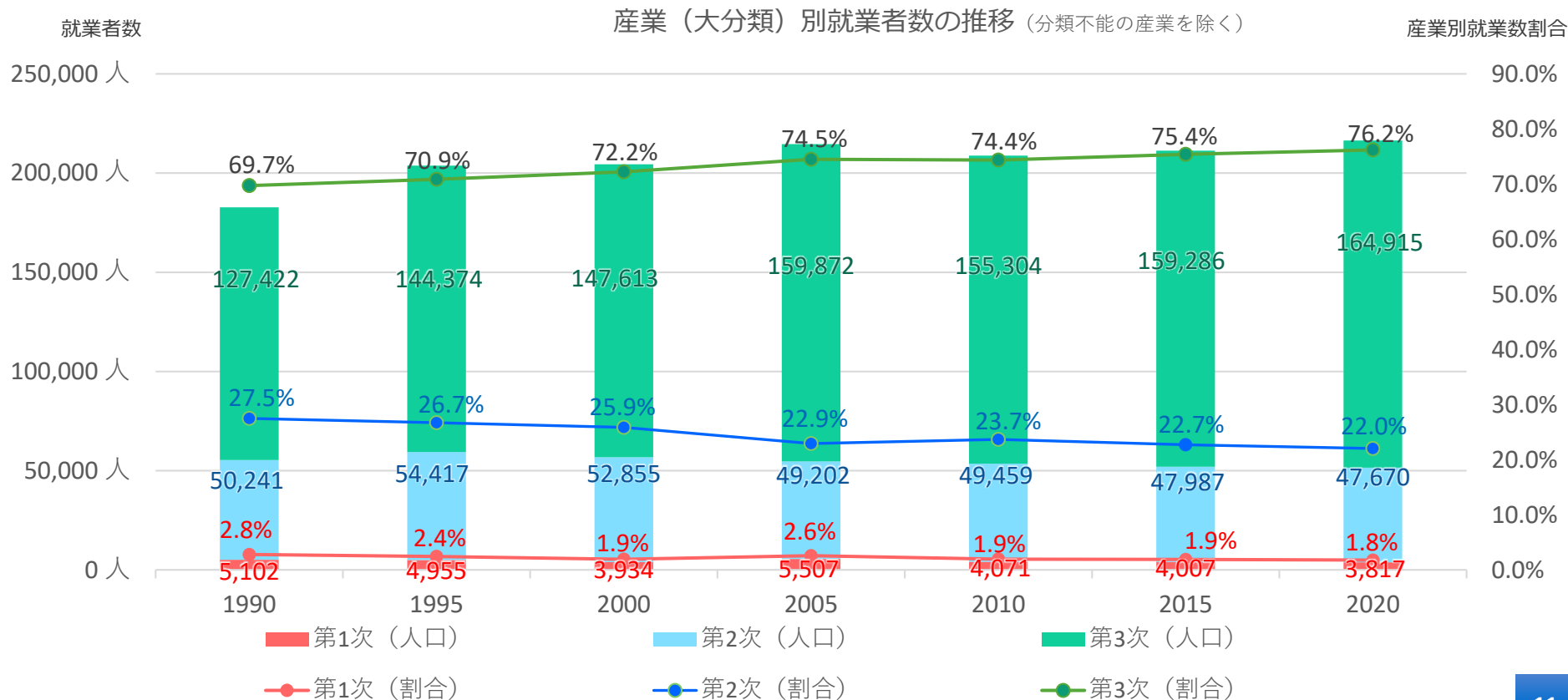
県内市町村 **1位**の **229**人（男性：127人、女性：101人、不明：1人） ※令和4年度に続き県内市町村で1位
首都圏からが **33%**超、30歳代以下が 約**70%**、子育て世帯が 約**36%**

大分市移住者数の推移



大分市の産業別就業者数の推移

出所：総務省統計局「国勢調査」

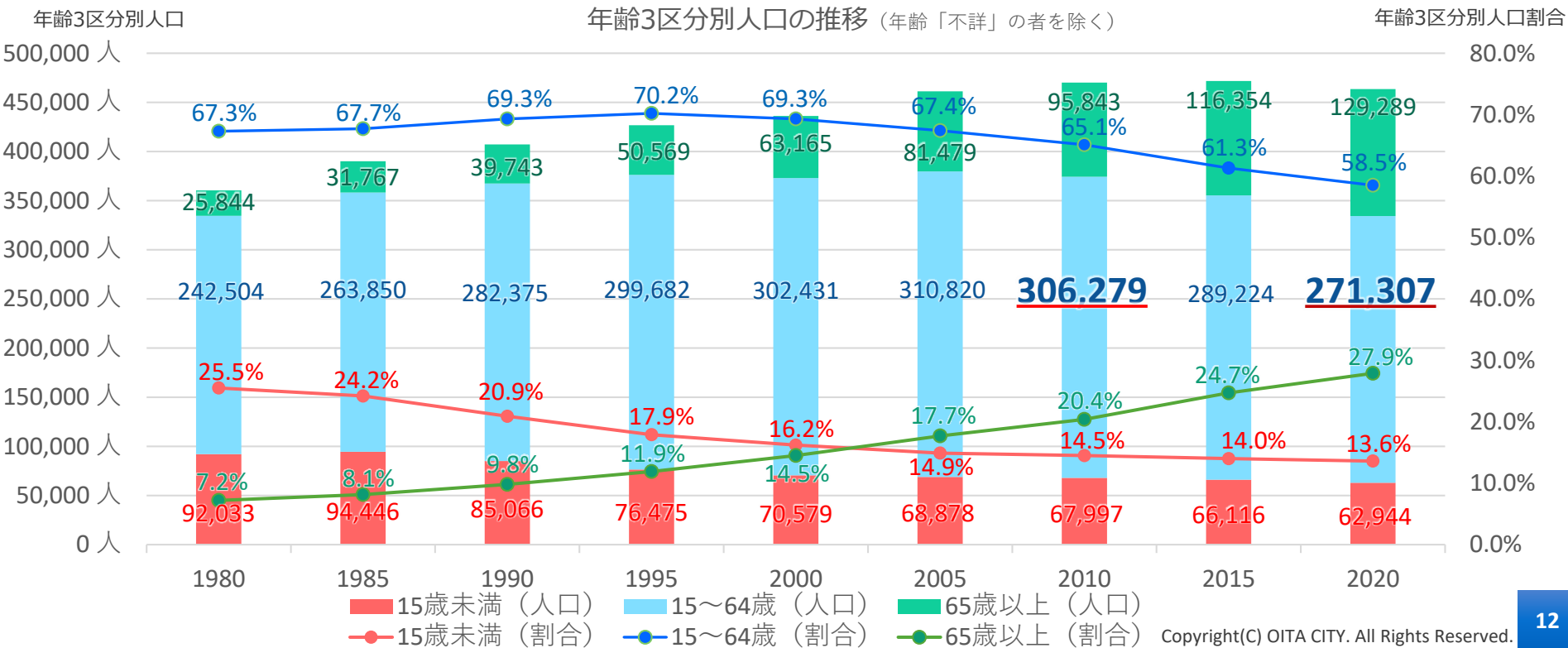


大分市の生産年齢人口の推移

出所：総務省統計局「国勢調査」

◆15～64歳(生産年齢人口)の減少数(10年間) **-34,972人**【271,307人(2020年)－ 306,279人(2010年)】

※大分県 **-120,792人**【596,527人(2020年)－ 717,319人(2010年)】



大分の雇用情勢など

◆市内の有効求人倍率：1.91倍 ※1.41倍(大分県) 1.25倍(全国)
(大分労働局 令和7年1月31日発表分)

◆県内の正社員有効求人倍率：1.38倍 ※1.03倍(全国)
(大分労働局 令和7年1月31日発表分)

◆県内の完全失業率：1.8% ※2.4%(全国)
(大分労働局 令和7年1月31日発表分)

◆県内の雇用人員判断D.I.：-34(「過剰」-「不足」) ※-36(全国)
(日本銀行大分支店 令和6年12月13日発表分)

直近の出生率など

出所：厚労省「令和5年（2023）人口動態統計月報年計」、大分県「保健所別・市町村別合計特殊出生率」

◆都道府県の合計特殊出生率（2023年）

	上位 10	令和5年	前年
1	沖縄	1.60	1.70
2	長崎	1.49	1.57
	宮崎	1.49	1.63
4	鹿児島	1.48	1.54
5	熊本	1.47	1.52
6	福井	1.46	1.50
	島根	1.46	1.57
	佐賀	1.46	1.53
9	鳥取	1.44	1.60
10	山口	1.40	1.47
	香川	1.40	1.45
(12)	大分	1.39	1.49
(参考)	全国	1.20	1.26

	下位 5	令和5年	前年
43	京都	1.11	1.18
44	秋田	1.10	1.18
45	宮城	1.07	1.09
46	北海道	1.06	1.12
47	東京	0.99	1.04

◆県内の合計特殊出生率（5年平均）

市町村	令和1年 ～令和5年	平成30年 ～令和4年
(参考) 県平均	1.44	1.53
大分市	1.48	1.54
別府市	1.22	1.39
中津市	1.56	1.69
日田市	1.65	1.70
佐伯市	1.51	1.54
臼杵市	1.32	1.29
津久見市	1.24	1.35
竹田市	1.33	1.42
豊後高田市	1.43	1.75
杵築市	1.28	1.38
宇佐市	1.39	1.56
豊後大野市	1.25	1.34
由布市	1.49	1.61
国東市	1.25	1.36
姫島村	1.86	2.17
日出町	1.51	1.55
九重町	1.51	1.69
玖珠町	1.73	1.78

少子化対策を最優先

少子化が進行すると・・・

- ・地域コミュニティの弱体化
- ・社会保障制度の疲弊
- ・地域経済の縮小
- ・労働力の不足
- ・市の財政の硬直化

・・・など社会や経済に多大な影響

ひとを育む

妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆保育料の無償化を拡大

認可外保育施設を利用する保育の必要性がある第2子以降の0、1、2歳児の保育料を無償化(月額上限3万5千円)

※令和6年度認定者見込み数:約700人

※認可保育施設における第2子以降の0～2歳児の保育料は令和元年10月から完全無償化



保育支援事業(イメージ)

◆子ども医療費助成の対象者を拡大

令和6年4月診療分から助成の対象を高校生年代(18歳)までに拡大

※拡大前の対象者は15歳まで



子ども医療費助成(イメージ)

◆小学生のピロリ菌検査を実施

小学校5年生の希望者を対象に検査を行い、検査後から除菌治療までの間、継続的にフォローアップすることで、将来の胃がん等のリスクを軽減

※令和6年度検査実施者数:約3,700人



ピロリ菌検査事業(イメージ)

妊娠・出産・子育てから高等教育まで切れ目のない支援の充実

◆返還免除型の奨学資金制度の開始（令和7年度入学者から）

進学を志す学生の経済的な負担軽減と卒業後に本市で活躍する人材の育成・確保を目的に開始

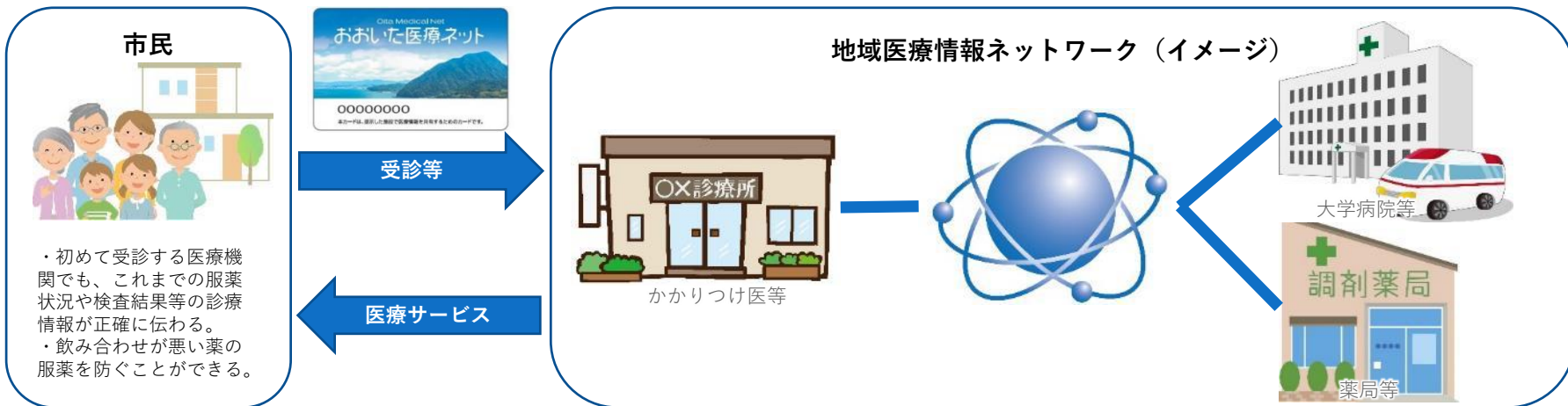
	返還免除型（令和7年度入学者以降）	貸与型（令和6年度入学者まで）
対象者	<u>市内の高等学校等に在学しており、学業・人物とも優秀な方</u> ※市外の高等学校等に在学している場合は、保護者が市内に住所を有すること	保護者が市内に住所を有しており、学業・人物とも優秀で経済的理由により修学困難な方
募集人数	<u>・市内の高等学校等に在籍：28人（各学校1人）</u> <u>・市外の高等学校等に在籍：1人</u>	・10人（高等学校等の入学予定者） ・20人（大学等の入学予定者）
所得制限	<u>なし</u>	あり
貸与金額（年額）	・大学、短大、 <u>専門学校（専修学校専門課程）</u> <u>入学一時金 県内：500,000円</u> <u>県外：800,000円</u> <u>学費：500,000円</u>	・高等学校、高等専門学校 国公立：120,000円 私立：240,000円 ・大学、短大：540,000円
返還期間	卒業、退学により貸与を終了した <u>翌月から15年以内</u> <u>※卒業後、「大学院等への進学」や「本市以外で勤務等」の場合は最大5年間の返還猶予期間あり</u>	卒業、退学により貸与を終了した翌月から起算して半年後から15年以内
返還免除	<u>あり</u> ※卒業後5年間、「市内に居住」または「市内の事業所等に就業」	なし

ひとを守る

安全・安心な医療体制

◆おおいた医療ネット（地域医療情報ネットワーク）の運用

より良い医療サービスを提供するため、患者さんの同意のもと、地域の医療機関等が診療情報等を共有する「おおいた医療ネット」が令和6年7月から運用スタート ※参加施設数:160施設(1/31時点)



◆消防指令業務の共同運用

県下14消防本部の119番通報を本市(おおいた消防指令センター)が一手に受付けるもので、令和6年10月から運用スタートし、都道府県単位での一本化は全国初

安全・安心な医療体制

◆救急医療の電話相談事業（#7119）の実施

病院の受診や救急車の要請などに迷った場合に、市民が安心して相談できるよう、令和6年10月から専用の電話相談窓口（#7119）を設置 ※受付件数:5,417件(10/1～1/31)



ひとを支える

物価高騰対策関連 (11事業、7.2億円)

◆貨物運送事業者への支援

市内で貨物運送事業を営む中小企業者及び個人事業主に対して、使用する車両数に応じて支援金を給付

※【申請期間】令和6年5月20日～7月19日 【申請受付件数】228件



貨物運送事業者への支援
(イメージ)

◆交通事業者への事業継続支援

交通事業者に対して、事業の業務効率化や省エネルギー化、人材確保等の取組を支援し、公共交通の維持や観光を振興

※【申請期間】令和6年4月10日～5月17日(一次募集)、7月22日～8月23日(二次募集)

【申請受付件数】83件(一次・二次合計)



交通事業者事業継続支援事業
(イメージ)

◆農業者・畜産経営者・漁業者への支援の継続

認定農業者への肥料や畜産経営者への飼料、漁業者への燃料など、それぞれの購入費等に対して助成

※漁船の燃料購入費への補助申請受付件数:1,223件(12/31時点)

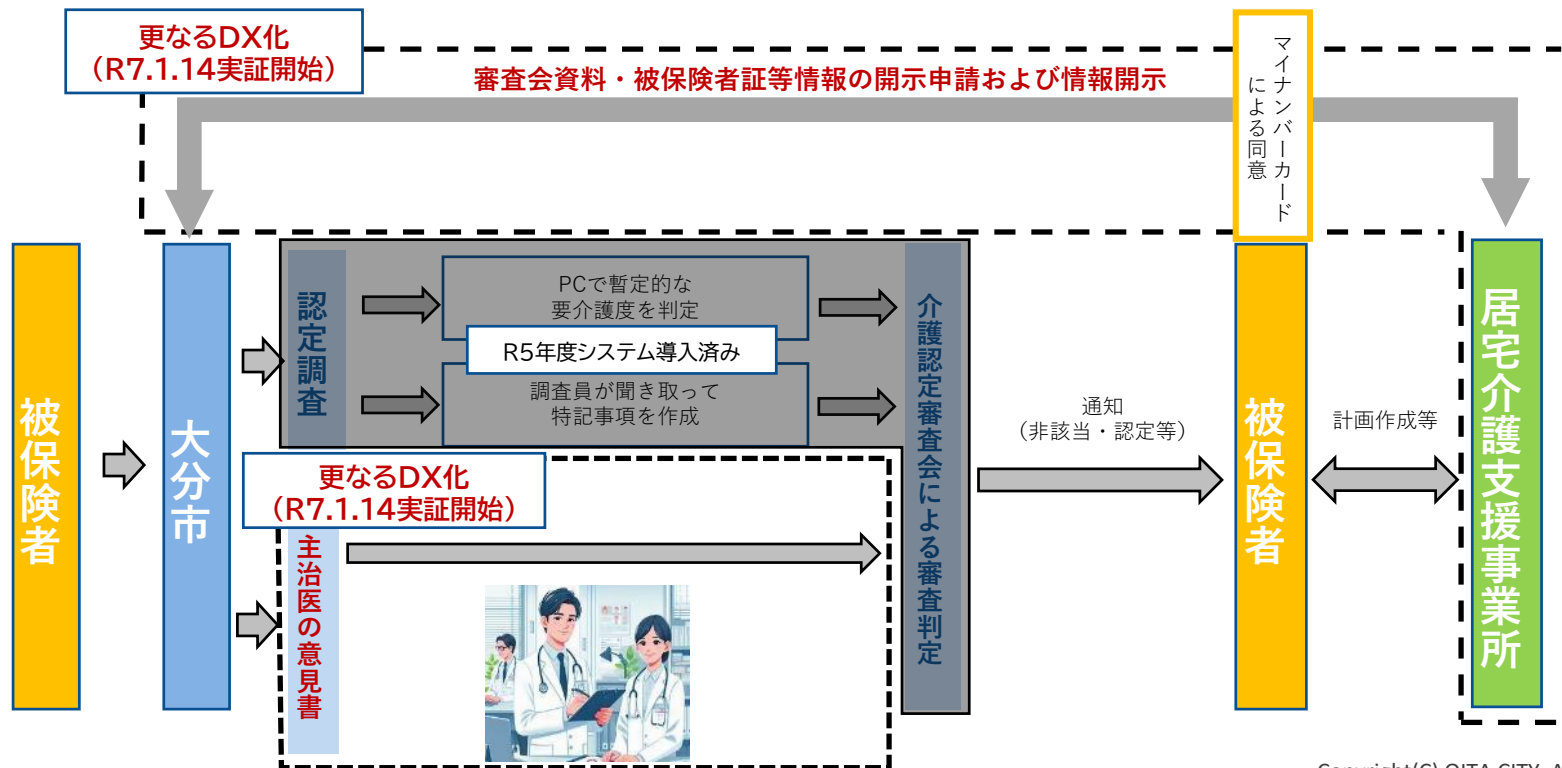


大分市内の漁場

時代に合ったDXの推進

◆要介護認定のデジタル化を推進

迅速な介護サービスの提供のために、令和5年度から「介護認定業務システム」(認定調査票及び認定審査会資料の電子化・電送、審査会のオンライン開催)を導入し、今年度は更なるDX化(マイナンバーカードを活用した情報開示など)で全国初の取組を推進



ひとを豊かに

国内有数の「産業都市大分」－九州1位の製造品出荷額等

九州 2022年～2020年**1**位

(単位：兆円)

2022年			2021年			2020年		
順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等
1	大分市	3.86	1	大分市	3.18	1	大分市	2.34
2	北九州市	2.77	2	北九州市	2.63	2	北九州市	2.11
3	京都郡菟田町	1.79	3	京都郡菟田町	1.20	3	京都郡菟田町	1.31
4	宮若市	1.13	4	宮若市	1.18	4	宮若市	1.20
5	中津市	0.83	5	中津市	0.67	5	中津市	0.68
6	合志市	0.70	6	福岡市	0.62	6	福岡市	0.60
7	福岡市	0.65	7	合志市	0.54	7	長崎市	0.45
8	都城市	0.48	8	熊本市	0.45	8	熊本市	0.43
9	熊本市	0.47	9	都城市	0.44	9	都城市	0.43
10	伊万里市	0.46	10	諫早市	0.42	10	諫早市	0.41

全国 2022年**8**位 2021年**12**位 2020年**13**位

(単位：兆円)

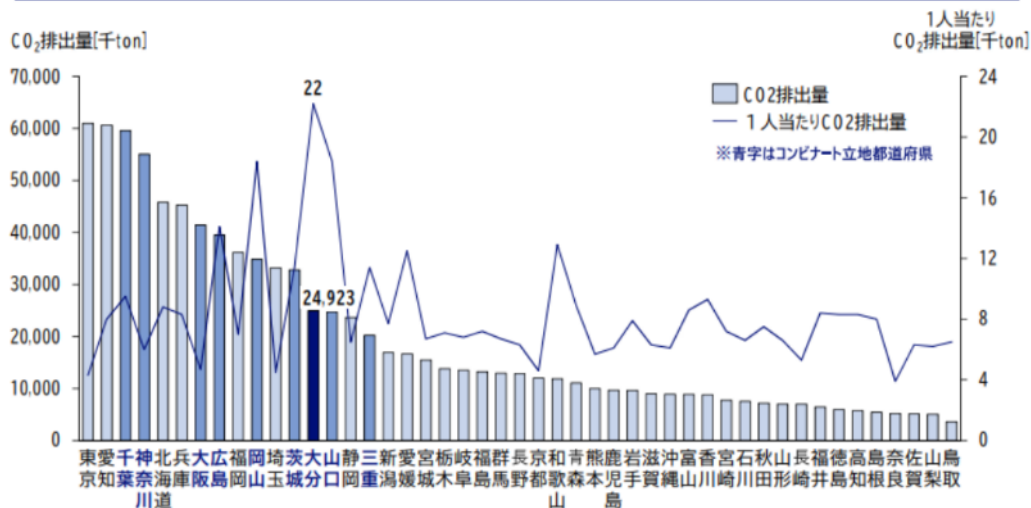
2022年			2021年			2020年		
順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等	順位	自治体	製造品 出荷額等
1	豊田市	16.81	1	豊田市	14.98	1	豊田市	14.71
2	倉敷市	5.83	2	倉敷市	4.62	2	市原市	3.97
3	市原市	5.72	3	市原市	4.25	3	堺市	3.55
4	堺市	4.81	4	堺市	4.23	4	大阪市	3.53
5	大阪市	4.50	5	横浜市	4.15	5	横浜市	3.52
6	横浜市	4.30	6	大阪市	4.08	6	倉敷市	3.47
7	川崎市	4.13	7	川崎市	3.96	7	神戸市	3.41
8	大分市	3.86	8	神戸市	3.42	8	川崎市	3.40
9	神戸市	3.84	9	東京特別区	3.40	9	東京特別区	3.00
10	名古屋市	3.56	10	名古屋市	3.36	10	名古屋市	2.99
11	東京特別区	3.55	11	四日市市	3.18	11	四日市市	2.87
12	四日市市	3.50	12	大分市	3.18	12	広島市	2.80
13	広島市	3.09	13	広島市	2.78	13	大分市	2.34
14	岡崎市	2.88	14	北九州市	2.63	14	太田市	2.27
15	姫路市	2.88	15	京都市	2.62	15	京都市	2.14

県内のCO₂排出動向など

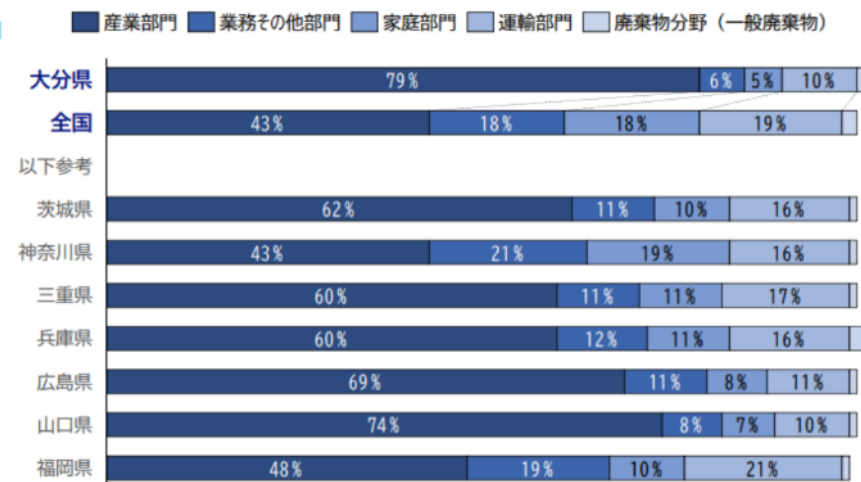
◆大分県のCO₂排出量は人口一人当たり全国**1**位

◆県内の産業部門が占めるCO₂排出量は**79%**（全国平均43%）

都道府県別CO₂排出量と人口一人当たりCO₂排出量（2020年）



部門別のCO₂排出量構成比（2020年）



地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆下水汚泥の燃料化施設の供用開始

地球温暖化の防止や循環型社会の形成に向け、大分市及び県内8自治体から排出される下水汚泥を大分市に建設した下水汚泥燃料化施設に集約し、その汚泥から固形燃料を製造後、石炭等の代替燃料として利用 ※CO2削減見込み量：2,881 t/年【1,275世帯分(R4年度環境省調査結果から算出)】



事業スキーム



広域化・共同化

下水汚泥の搬入時期	
令和6年10月から	大分市
	佐伯市
	津久見市
	日出町
令和7年4月から	別府市
	臼杵市
	豊後高田市
	杵築市
	国東市

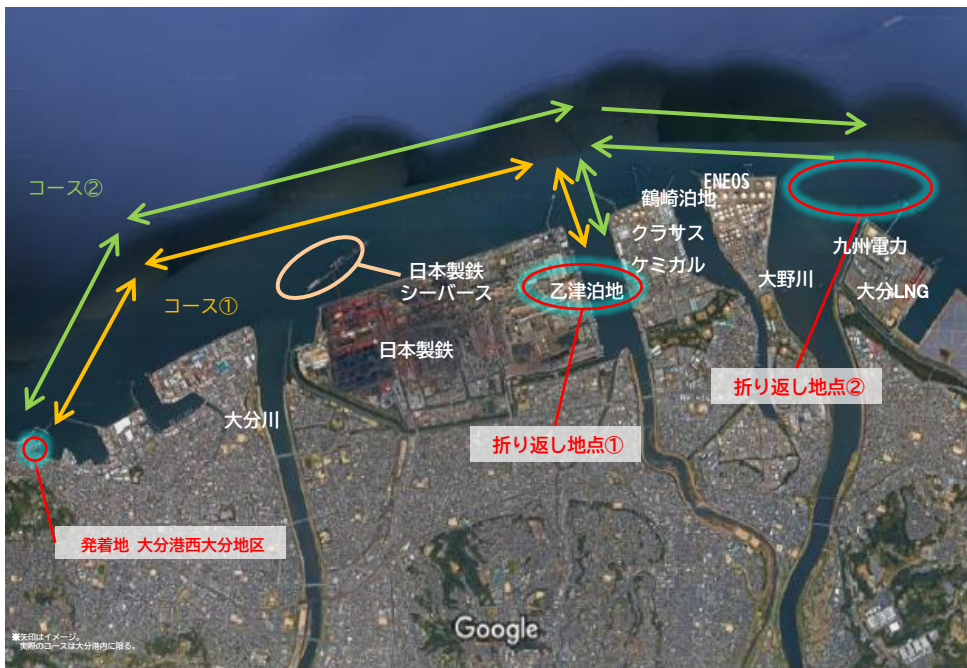
◆F S 【Feasibility(フィージビリティ) Study(スタディ)】 事業

水素供給低コスト化をめざし、新環境センター(R9年度供用開始予定)のごみ焼却発電電力を主な電源とし、水素製造を行い供給する「地産地消型の水素製造・供給ハブモデル」の事業化に向けた可能性調査を実施

地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆工場夜景クルーズの実証事業

福岡・大分デスティネーションキャンペーン(R6.4~6)や全国豊かな海づくり大会(R6.11)に合わせ、本市の強みである臨海部の工場群の夜景を海から鑑賞するクルーズを実施 ※5~9月の週末と11月9・10日に実施



クルーズの様子(2階甲板)



クルーズの様子(船内)



臨海部工場群(大野川河口)

地域経済の活性化と持続可能なまちづくり

◆中九州横断道路の整備の推進

国土交通省の計画段階評価結果(R6.3)において、①山側ルート ②集落に近接する位置へのIC設置が対応方針として示された。令和6年度は県によるステップアップシンポジウムを11月に開催



ひとを元気に

本市の特色や若者の持つ活力を生かした魅力ある地域づくり

◆アーバンスポーツフェスを開催

若者を惹きつけるスケートボードやブレイキン(ブレイクダンス)などの
アーバンスポーツの魅力が体感できるイベントを令和6年度は2回開催

※第1弾【開催日:10/19(土)、場所:トヨタカローラ大分 祝祭の広場、来場者数:約1,600人】

第2弾(予定)【開催日:3/15(土)、場所:トヨタカローラ大分 祝祭の広場】



◆スポーツコミッションの推進

スポーツで地域の活性化を図るため、官民一体となって日本代表級アスリートをはじめとしたスポーツ合宿等の誘致を実施

※令和6年度合宿誘致数:6件(1/31時点)



◆本市の魅力を発信する新たな制度

本市の魅力をより広くPRするため、幅広い分野で活躍されている本市に
ゆかりのある方々の発信力を活用する「大分市魅力発信応援制度」を創設

※大分市魅力発信アンバサダー:7名、1団体

- | | | |
|--------------|--------------------|-----------------------|
| ①北村 直登【画家】 | ②平川 雄一郎【演出家・映画監督】 | ③敷根 崇裕【フェンシング選手】 |
| ④成島 出【映画監督】 | ⑤廣津留 すみれ【ヴァイオリニスト】 | ⑥横浜キャノンイーグルス【ラグビーチーム】 |
| ⑦甲斐 拓也【野球選手】 | ⑧財前 直見【女優】 | |



本市の特色や若者の持つ活力を生かした魅力ある地域づくり

◆若手起業家育成施設「Mirattend（ミラテンド）」の本格オープン

先輩起業家から学ぶ場の提供をはじめサポート企業等による起業支援やマッチング、起業に関するイベント等を行う施設を令和6年10月オープン

※東京・恵比寿発のスペシャルティコーヒー専門店「猿田彦珈琲」が九州初の期間限定出店(R7.1.17～、施設横)
※大分市中央町2-8-3(ガレリア竹町通商店街内)



◆アートでつなぐ まちのにぎわい創出

中心市街地の周遊性を高めるため、県立芸術緑丘高校や県立鶴崎工業高校、県立芸術文化短期大学、障がい者等によるアートの展示のほか、中央通りにおける名前入り木質ブロックの敷設を実施

※展示場所等:末広町一丁目、大分駅前地下道、市道中央通り線歩道



◆花火大会の開催

大分川(弁天大橋上流)で『おおいた「夢」花火』を令和6年9月8日(日)に初開催(次回:令和7年8月30日(土)開催予定)

※来場者数:12万人

※協賛実績:3,530万円、242団体(特別協賛ジェイリース株式会社を含む)

※台風10号の影響により8/31(土)から延期



火群まつり、大分七夕まつり、本場鶴崎踊、おおいた「夢」花火

※割 愛

将来的な展望

将来的な展望の一例（イメージ）

◆後期高齢者医療の健康診査の拡充（大分県後期高齢者医療広域連合の行う健康診査）

1. 現状

- ・糖尿病等の生活習慣病を早期発見、早期治療するための健康診査は重要
- ・大分県後期高齢者医療広域連合が健康診査を年1回実施
- ・健診項目については、基本的には、75歳未満と同様の項目（血圧測定、血液検査、検尿など）

2. 今後の観点等

- ・前期高齢者と比べ、75歳以上になると健康リスク（老年症候群等）と病気リスク（認知症など）が上昇
- ・健康寿命の延伸と将来的な医療費・介護費用の抑制を図る
- ・令和7年度から健診項目の追加（基準該当者等に心電図検査・貧血検査・眼底検査）を実施
- ・心筋梗塞（主な死因2位）や脳梗塞（主な死因4位）の原因となる心房細動を発見できる心電図検査を追加

主な死因（死因順位第5位まで）の死亡率（人口10万対）

主な死因 トップ5	①悪性新生物 <腫瘍>	②心疾患 (高血圧を除く)	③老衰	④脳血管疾患	⑤肺炎
全 国	315.6	190.7	156.7	86.2	62.5
大分県	343.3	211.6	176.0	109.8	73.6

※出所：厚生労働省「令和5年(2023)人口動態統計月報年計(概数)の概況」

大分県の健康寿命（令和4年）

男性：**72.37歳**、全国**25位**
（前回：73.72歳、全国1位）

女性：**75.94歳**、全国**10位**
（前回：76.60歳、全国4位）

※出所：大分県ホームページ

将来的な展望の一例（イメージ）

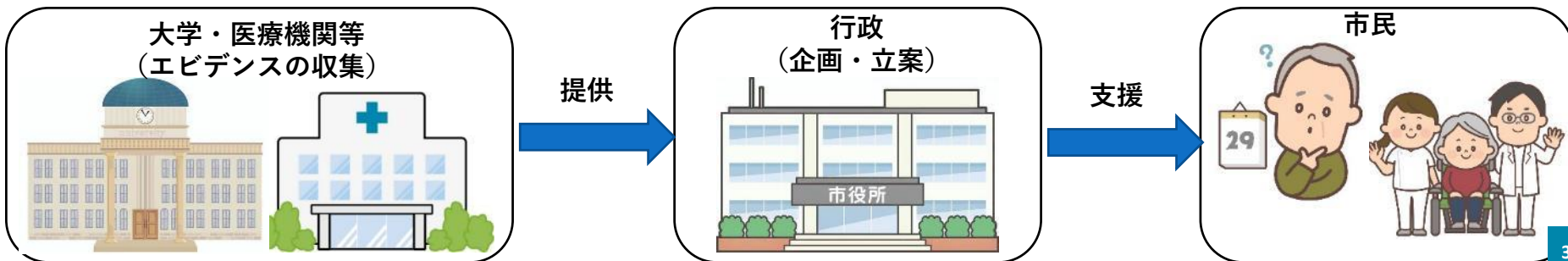
◆難聴と認知機能の関連性の究明

1. 現状

- ・2040年頃までの65歳以上の方の増加と、その後、75歳以上の高い割合が見込まれる
- ・難聴有病率（軽度難聴以上の難聴がある人の割合）は65歳以上で急増 ※国立長寿医療研究センター
- ・「難聴」は「高血圧」「肥満」「糖尿病」などとともに認知症の危険因子の一つ ※ランセット国際委員会

2. 今後の観点等

- ・「補聴器の使用」と「認知症の予防」との関連性に関するエビデンスの収集
- ・新たな補聴器助成制度の検討（例：軽度・中等度難聴者を対象とするなど）
※現在の補聴器助成は、①身体障がい者（重度難聴者） ②18歳未満の軽度・中等度難聴者
- ・健康寿命の延伸を図り、QOL（生活の質）を向上させ、ウェルビーイング（Well-being）な社会を実現



将来的な展望の一例（イメージ）

◆「西洋医術発祥の地おおいた」と「ルイス・デ・アルメイダ」のフォーラム

1. 現状

- ・1555年 商人であり医師でもあった「ルイス・デ・アルメイダ」が私財を投じて日本初の育児院を建設
そこでの活動は、日本初の「牛乳飲料発祥の地」と呼ばれるきっかけとなる
- ・1557年 日本初の西洋式病院を豊後府内（現在の大分市）に開設、日本で最初の外科手術を実施
「ミゼリコルディア（慈悲の組）」という日本初の献身的な組織により病院を運営

2. 今後の観点等

- ・2025年 1525年にポルトガル・リスボンで生まれ、大分を拠点に約30年間（1555-1583）活動したアルメイダが生誕500年を迎える
- ・中世の豊後府内のまちに多大なる貢献をしたアルメイダの功績等を顕彰し、郷土の魅力を再発見するためのフォーラムを開催予定



one team オール市民でまちを創る ITA

ワンチーム
おおいた

ご清聴ありがとうございました

↓市長のプロフィール等はこちら↓
【大分市ホームページ>Web市長室】

↓これまでの講演会についてはこちら↓
【大分市ホームページ>Web市長室>講演会資料】

